

Round 3



Outline

雨と霧の中で決勝が行われるも赤旗でレースは途中終了。坪井翔が3位表彰台を獲得。笹原右京は悔しい16位。

2024年の全日本スーパーフォーミュラ選手権 Round3「東北大会 in スポーツランド SUGO」が6月22日(土)・23日(日)にスポーツランド SUGOで行われた。悪天候の影響で序盤からアクシデントが続出し、レースは途中で中断され、12周時点で終了となった。予選3番手からスタートした坪井翔は、そのままポジションを守り2戦連続で3位表彰台。笹原右京は16位でレースを終えた。



● Information

circuit	スポーツランド SUGO (宮城県村田町)	
date	6/22 sat	6/23 sun
weather	晴れ時々曇り	雨
spectators	15,700人 (sat 6,400人 + sun 9,300人)	

SUGO

Result

36

VANTELIN
TEAM TOM'S

SHO TSUBOI

Driver 坪井 翔

予選

3位

Driver Rank

決勝

3位

6位

予選 Q1 P2 (A Gr) / 1'06.162

予選 Q2 P3 / 1'05.500

決勝 P3 / 1'43.932

37

VANTELIN
TEAM TOM'S

UKYO SASAHARA

Driver 笹原 右京

予選

18位

Driver Rank

決勝

16位

- 位

予選 Q1 P9 (B Gr) / 1'06.900

予選 Q2 -

決勝 P16 / 1'49.358

予選

●天候：晴れ ●気温：31℃ ●路面温度：50℃



Qualifying detail

2台ともフリー走行から上位につけ、坪井は今季ベストの3番手を獲得。笹原は悔しいQ1敗退となる。

朝から真夏日の暑さとなったスポーツランド SUGO。午前のフリー走行で、坪井は開始 15 分を過ぎたところでトップタイムを記録すると、笹原も 5 番手に入り、走り出しから 2 台とも好調な走りを披露した。最終的に坪井が 6 番手、笹原は 7 番手で終了し、大きな手応えを掴んで予選に臨んだ。

予選 Q1A グループに出走した坪井は、午前のフリー走行からさらにタイムを更新し、1 分 06 秒 162。2 番手で通過を果たした。ポールポジションをかけて臨んだ Q2 では、さらに攻め込んでいき、1 分 05 秒 500 をマークした。最大限のパフォーマンスを出し尽くし、トヨタエンジンユーザーの中では最上位となる 3 番手となった。

一方、前戦から手応えを掴みつつある笹原は、フリー走行からセッティングを変えずに Q1B グループに出走した。しかし、タイヤのグリップ不足に悩まされ思うような走りができず、1 分 6 秒 900 で 9 番手に終わり、悔しい Q1 敗退となった。

After Qualifying



良いアタックができたので、3番手は悔しいです。

ドライバー 坪井 翔

走り出しから調子が良かったですし、予選 Q1 から Q2 にかけてステップを踏むことができましたと思っています。どちらも良いアタックができましたが、それでもトップに届かなかったのが、ライバルの手強さをあらためて痛感しました。

VANTELIN TEAM TOM'S **36**



ライバルに追いつくために、もっと何かをしないとイケない。

レースエンジニア 小枝 正樹

今回は走り出しから調子が良かったですし、予選 3 番手という結果も悪くないと思います。本来持っているべきは力だと思っていますが、それでもトップにいるライバルには追いつけていないところもあるので、何とかしないとイケないです。

After Qualifying



予選は残念でしたが、良い流れは継続できています。

ドライバー 笹原 右京

フリー走行での感触を考えると、間違いなく Q1 を突破できるだけのパフォーマンスがあると思っていました。そこで煮詰めたセットアップで臨んだのですが、ピットアウトした時からグリップを感じられなくて、残念な結果になりました。

VANTELIN TEAM TOM'S **37**



朝から調子が良かっただけに、本当に悔しい予選になりました。

レースエンジニア 大立 健太

前回のオートボリスからの流れを引き継いで、今回もフリー走行から調子良く走っていました。予選 Q1 の突破は確実だと思っていたので、わずかな調整だけ加えて Q1 に臨みましたが、午前中より遅いタイムで終えることになりました。

決勝

●天候：雨 ●気温：20℃ ●路面温度：23℃



Race detail

**雨と霧のなかで行われた決勝は、
アクシデントにより途中終了。
坪井が2戦連続で3位表彰台。**

前日の予選日から一転して朝から雨模様となった決勝日。特に午前のフリー走行2回目は悪天候の影響で開始5分で中断され、そのままセッション終了となった。これに伴い決勝前のウォームアップ走行が8分から20分に延ばされるも、アクシデントにより中断。ガードレールの修復に時間を要し、予定より約1時間遅れでレースが始まった。最初はセーフティカーが先導して6周目にスタートを切ろうとしたが、他車のアクシデントにより再びセーフティカーが出動。13周目に再開した。3番手の坪井はペース良く前方のライバルに追いつき、馬の背コーナーで追い抜きにかかるが順位は変わらず。さらに間合いを詰めて攻略しようとした時に、三度目のアクシデントが発生して赤旗中断となった。ガードレールの損傷が激しいことから、ここでレース終了が宣言され、12周時点の順位が正式結果となり、坪井は2戦連続で3位表彰台を記録した。18番グリッドから臨んだ笹原はライバルの脱落もあり、16番手という結果になった。

After Race



**どんなコンディションでも戦える
手応えを感じた週末でした。**

ドライバー 坪井 翔

ウエットでの調子が良さそうだったので、あのままレースが続いていればトップに行けたかもしれませんが、今年2月のテストでは雨で苦戦していましたが、今回は色々試して良いところが見つかった気がします。

VANTELIN TEAM TOM'S 36



**今回のテストで色々トライして、
Round4以降に臨みたいです。**

レースエンジニア 小枝 正樹

こういう状況でしたが前に仕掛けられていた感じがあったので、もう少しレースが続いていたらどうなっていたかなと思います。現状のクルマの戦闘力としては悪くないところにいると思うので、それにプラスアルファとなる要素を、次の公式テストで見つけたいと思います。

After Race



**雨の中で手応えがあったのは、
良い収穫だったと思います。**

ドライバー 笹原 右京

観に来ていただいたファンの皆様には申し訳ないですが、状況を考えると途中終了は正しい判断だったと思います。個人的には雨の中でも良い感触だったことが分かって良かったです。次戦までにテスト走行の機会もあるので、さらに良くしていきたいです。

VANTELIN TEAM TOM'S 37



**これまでに掴んだ良いところを、
今後も継続させていきたい。**

レースエンジニア 大立 健太

決勝は何もできずに終わりましたが、今大会であらためてクルマの方向性を確認することができました。タイムも良くなってきましたし、良いところを掴みはじめた段階なので、まだトップタイムには届いていませんが、そのあたりをテストで詰めていきたいです。

Summary



総監督
館 信秀

最後までレースができなかったのは残念ですが、天候を含めてこの状況では仕方がありません。その中でもスタートができて、少しでもお客様の前で走る姿をお見せできて良かったと思います。坪井はフリー走行でトップタイムを出していたので、予選3番手というのは悔しい結果でした。その分、決勝での追い上げに期待していましたし、惜しいところもありました。また次戦に期待です。笹原は良いところがあったのですが、フリー走行までの流れを次に繋がられるようにしてほしいです。次戦も精一杯頑張りますので、引き続きたくさんの応援をよろしくお願いいたします。

Race Scene



V バンテリン

